



## 「課題研究指導」を実施しました

理数科 2 年の学校設定科目「SSH 研究Ⅱ」では、数学・物理・化学・生物・共創（社会課題解決を目指す研究分野）の 5 つの分野で課題研究に取り組んでいます。1 年間の課題研究を通して、研究のための専門的知識と技能の習熟を図り、研究のためのチームワーク力や倫理観を高め、批判的思考力や表現力・対話力を身に付けるなど、「課題解決力」を育成することがねらいです。

5 月 22 日(水)、7 月 10 日(水)に、佐賀大学 理工学部 理工学科 和久屋寛 先生、長田聰史 先生、成

田貴行 先生、農学部 生物資源科学科 関清彦 先生にお越しいただき、「課題研究指導」を行いました。

まず、それぞれの研究班が、自分達で設定したテーマや研究の進捗状況について、大学の先生に説明をしました。大学の先生からは、テーマを設定した理由や実験の具体的な方法等について、問題点の指摘やアドバイスをいただきました。



## 「リサーチセミナー」を開催しました

6 月 15 日(土)に、理数科 1 年生を対象に、第 1 回「リサーチセミナー」を実施しました。佐賀大学 理工学部 理工学科 化学部門 長田聰史 先生に、「「化学」と「生物」で医療を探す」と題して、サリチル酸やタミフルなど医薬用化学物質の合成の歴史、ベンゼンチオールなどの分子デザインを題材とした研究の事例紹介など、研究課題の見出し方や解決方法について話していただきました。



### 生徒の感想

- 「今回のお話で医療はいろいろな分野と関りあってできていると分かりました。多分それは他の様々なことにも言えると思います。だからこそ、何かひとつの知識だけでなく、すべての教科の能力をバランスよく持っていなければならないと感じました。」
- 「科学分野の活動をする際、常識にいつも疑問を抱いたり、否定したりすることが研究への第一歩だと思いました。また、今、学習していることは、課題を発見するための手がかりであり、それを解決するための道具であるので、今のうちから基礎固めをしていきたいと思います。長田先生の話聞いて、研究をすることは楽しいことなのだと思います。自分も日頃から考える習慣をつけて、新しい課題を見つけたいです。」
- 「大学では、答えを求めるだけでなく、答えや法則をつくる学習や取組をしていることが分かった。自分で疑問点などを見つけて研究するためには、高校のときに基礎知識などを身に付けておかねばならないと思った。」